

週4回以上+英語強化コース

(常陽中女子)

2024年3月卒業=4期生

【合格校】尼崎稲園(66=単位制) 仁川学院(併願56=カルテベ  
ーションS)

【部活動など】バスケットボール部

※学校名カッコ内の数字は大阪進研の合格校の偏差値(受験年)

## 塾で頑張ったこと

苦手科目の克服!

## 教室の印象、思い出は?

自分がしなえればならないこと、したいことを徹底的につきあってくれる環境。苦手な教科をとことん練習できました。

3月受験に向けてたくさん実践練習ができたことがよかったです!

## どうやって志望校に合格できたか?(勉強時間など)

- ・引退前 毎日クラブあり。自宅で平日3時間 休日8時間
- ・引退後 平日(塾と家で)5時間 休日7時間

健康管理。休み時は休む。睡眠時間は確保

## 後輩へのメッセージ

「時間が過ぎるのはとても速いので後悔しないように、今からでもすぐに切り替えて勉強しましょう!部活も後悔しないよう全力で!」

## ★塾長の振り返り 英語強化コースで苦手克服 体現したアウトプットの大切さ

定期テストは上位の成績でしたが、実力テストは苦戦していました。実際の「実力」をどうつけるかが彼女のテーマでした。

なかでも英語は苦戦していました。

どうしても学校の授業だけでは教科書内の文章のみの学習になってしまいます。(それが基本、大切なのですが)

高校入試の英語に挑むには、それだけでは足りません。

ほとんどが長文読解の問題でいかに文章を読む速さをつけるか。処理能力が大切です。

リスニング問題の配点も高く、実際に聴き取る力が必要になります。英語は習うより慣れろです。

英語の強化コース「速読聴」の教材を使って「強制的に速く読む解く力」をつけ、ネイティブの発音で「聴く力」をつけてもらいました。

中3の2学期の前半で中学校で習う文法単元を早めに習得し、どんどん実践問題(長文読解問題)を始めていき、兵庫Vもし(兵庫県公立高入試準拠問題)も8月(特別回)の偏差値「59」から「66」まで上昇していききました。冬期講習(12月)からは実践問題(公立高校も入試想定問題、私立高校の過去問)の練習&解説、解き直しを繰り返し、実力をつけていききました。いかにアウトプット、問題演習が大切か。体現してくれました。